

—静岡県焼津市—

漁師の仕事! 船と漁業を知る授業・漁船員の仕事を疑似体験②

6 月 1 日、全国漁業就業者確保育成センターが主催し、全日本海員組合が後援する「漁師の仕事!船と漁業を知る授業」が、遠洋漁業の盛んな静岡県焼津市で開催された。この漁業就業ガイダンスは、実際に漁船を見てから就職ガイダンスに臨むという企画で、静岡県立焼津水産高等学校をはじめ、北海道、青森県、山形県、栃木県、富山県、島根県、沖縄県の各水産・海洋系の高等学校から約 60 人、県内外の中学校から約 50 人、生徒の保護者、関係者など約 60 人が参加した。

午前の部・船内見学会

6 月 1 日 9 時から「漁師の仕事!船と漁業を知る授業」が開催された。開会式は、静岡県立焼津水産高等学校の沼里智彦校長の朝礼に続き、焼津まぐろ漁業株式会社の立林雄祐常務取締役から安全指導が行われた。その後、記念撮影を行い、高校生グループと中学生グループに分かれ、漁業について学んだ。

午前の高校生グループは、焼津港に入港中の焼津まぐろ漁業株式会社所属遠洋マグロはえ縄漁船「第八十八福久丸」の船内を見学し、乗組員や関係者が船橋や機関室、居住区を案内し、生徒から船内での生活や操業などについての質問などに、担当者が丁寧に説明を行った。また、乗組員が操業に使用する漁具の説明を行ったほか、VR ゴーグルを使用し、実際の操業風景を目の当たりにした。VR ゴーグルを体験した生徒は驚きと興奮を隠せないようだった。

一方、中学生グループは静岡県立焼津水産高等学校の実習船「やいづ」の船内を見学した。

※VR ゴーグル=バーチャル・リアリティ・ゴーグル

「海員だより」